

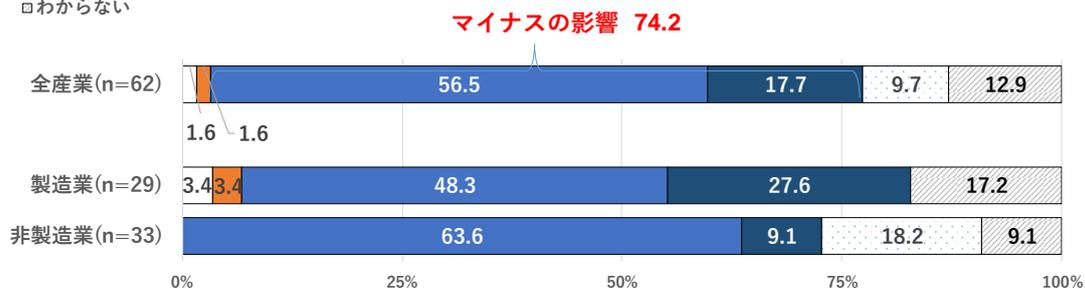
## 県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる

### <今月のポイント>

- 県内経済は、既公表の統計データに基づくと、総じてみれば持ち直している。もっとも、トランプ政権による相互関税等の導入を巡る動きにより、県内企業の間でも経営への影響の懸念が強まっていることから、総合判断は上記とした。
- 各項目の基調判断は据え置き。設備投資については、日銀短観（3月）、法人企業景気予測調査（1-3月期調査）の結果から、企業の投資意欲は底堅く推移しているとみられる。
- 先行きは、物価高や賃上げの動向に加え、当面の間、トランプ政権の通商政策がもたらす影響について最大限の注意を払う必要がある。

### トランプ政権の相互関税による自社の経営への影響（全産業・業種別）

- かなりプラスの影響
- どちらかと言えばプラスの影響
- プラスとマイナスの影響が同程度
- どちらかと言えばマイナスの影響
- かなりマイナスの影響
- 影響はない
- わからない



出所：常陽産業研究所「相互関税の影響に関する企業調査（2025年4月）」

### <基調判断・天気図>

	基調判断				
	前月からの変化	2025年4月調査	25年2月調査	25年3月調査	25年4月調査
総合判断	➡	総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる			
生産活動	➡	弱めの動きとなっている			
設備投資	➡	持ち直している			
住宅投資	➡	弱めの動きとなっている			
公共投資	➡	持ち直している			
個人消費	➡	一部に弱さがみられるものの緩やかに回復している			
雇用情勢	➡	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況			

◆基調判断に添えた矢印は方向感を、天気図は水準を示します。

◆基調（動向）判断の表現方法（イメージ）は、「各指標の動向判断の推移」7頁の図の通り。

## 生産は弱めの動きとなっている

2月の鉱工業生産指数（2020年＝100、季節調整値<sup>※1</sup>）は103.5、前月比2.8%増と3か月振りに上昇した。業種別の内訳（前月比での寄与度順）をみると、プラスチック製品（同10.9%増）、非鉄金属（18.2%増）、化学（同2.1%増）、生産用機械（同3.9%増）等が上昇した一方、鉄鋼（同5.9%減）等が低下した。

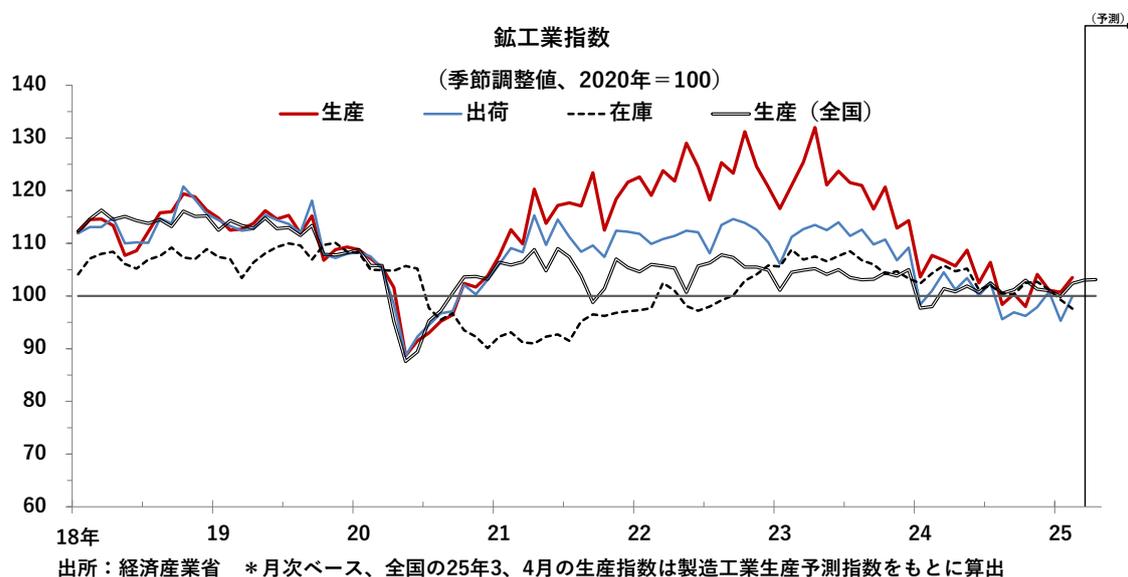
一方、当社の企業調査（3月）では、生産水準を表す生産判断DI<sup>※2</sup>が「減少」超9.1%、前期比10pt増と、方向感は改善したものの、依然マイナスの状況が続いた。

ヒアリング（3月）では、「主力製品の原料（野菜）が高値となり、売上は増加したものの、利益が大幅に減少」（食料品製造）、「光熱費や人件費も上昇しているが、今すぐの価格転嫁は困難」（木材・木製品製造）など、原材料費や販管費の上昇・高止まりにより、収益が圧迫されているとの声が多く聞かれた。以上を踏まえ、生産は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

先行きについて企業調査（3月）をみると、4-6月期の生産判断DIは、前期比4.7pt減の見通し。もっとも、当社が4月に実施した「相互関税の影響に関する調査」では、製造業者から先行き不透明感の強まりを指摘する声が多く聞かれたほか、「主要取引先の主戦場は北米であり、日本で自動車部品を製造している限りは、業績悪化は免れない」（輸送用機械）との厳しい声もあった。このため、海外経済や為替市場の動向に加え、トランプ政権の通商政策の動向が輸出関連企業等にもたらす影響については、十分な注意が必要とみられる。

なお、外需に係る貿易面についてみると、2月の茨城県内税関3支署の輸出額は1,966億円、前年同月比8.2%減と7か月連続で前年水準を下回った。鹿島は、石油製品（同57.3%増）が増加したものの、鉄鋼（同18.9%減）等の減少により同0.4%減、日立（日立港・常陸那珂港）は、建設用・鉱山用機械（同12.6%増）が増加したものの、自動車（同11.1%減）等の減少により、同10.9%減であった。

※1：原数値から季節的要因を調整した数値 ※2：前年比で生産の「増加」と「減少」との回答割合の差



## 設備投資は持ち直している、住宅投資は弱めの動き、公共投資は持ち直している

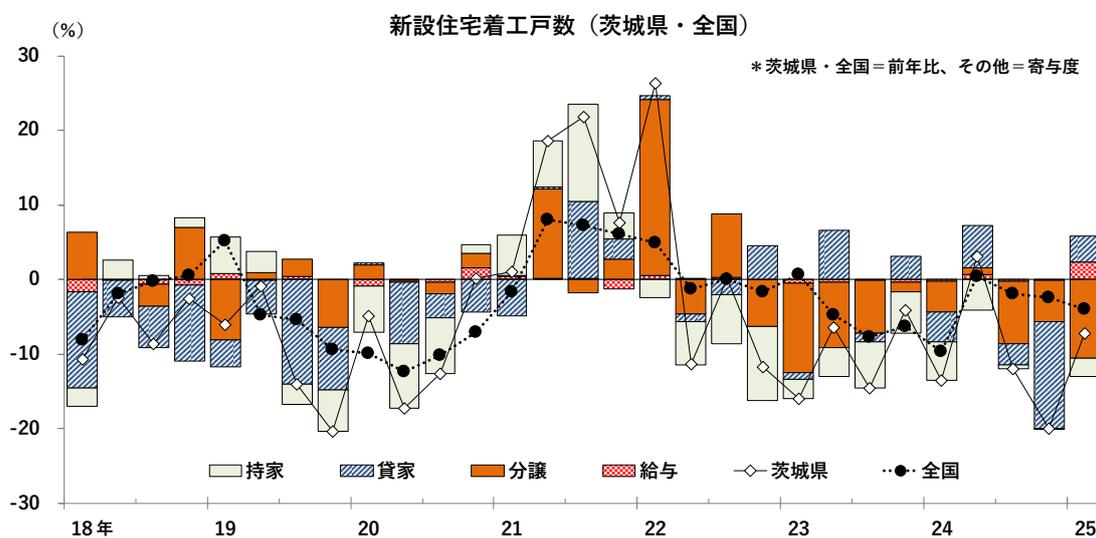
民間設備投資についてみると、2月の建築物着工床面積（民間非居住用）は工場などの増加により113千㎡、前年同月比20.3%増と3か月振りに前年水準を上回った。

日銀短観（茨城県、3月）によると、県内企業の24年度の設備投資額※は、全産業ベースで同36.3%増、25年度は前年度比1.7%増の見込み。水戸財務事務所の「法人企業景気予測調査（1-3月期調査、茨城県）」によると、県内企業の24年度の設備投資額※は、全規模・全産業ベースで、前年度比18.1%増、25年度は前年度比26.0%増の見込み。両調査からは企業の投資意欲は底堅く推移しているとみられることから、設備投資は「持ち直している」との判断を据え置いた。

2月の新設住宅着工戸数は1,192戸、前年同月比3.0%増と10か月振りに前年水準を上回った。内訳をみると、持家は532戸、同7.6%減と2か月振りに減少、貸家は415戸、同10.7%増と7か月振りに増加、分譲住宅は191戸（うち分譲マンション0戸）、同5.9%減と9か月連続で減少した。住宅投資は、貸家の増加により10か月振りに着工総数が増加したものの水準は低く、分譲の低迷も長期化している。不動産関係者からは「若年人口の減少により、住宅ローン金利上昇を睨んだ一次取得者（初めて住宅を購入する人）の駆け込み需要も限定的」との声が聞かれた。以上を踏まえ、住宅投資は「弱めの動きとなっている」との判断を据え置いた。

3月の公共工事請負金額は427億63百万円、前年同月比22.5%減と2か月連続で前年水準を下回った。内訳をみると、独立行政法人等、市町村が増加、国、県が減少した。公共投資は、2か月連続で前年割れとなったものの、24年度累計（24年4月～25年3月）では前年度比4.1%増と堅調に推移していることを踏まえ、「持ち直している」との判断を据え置いた。

※ともにソフトウェアを含む（除く土地投資額）



出所：国土交通省 \*四半期ベース、25年1Qは1、2月の数値

## 個人消費は、一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している

3月の乗用車販売台数（乗用車新規登録台数＋軽乗用販売台数）は10,229台、前年同月比10.3%増と、3か月連続で前年水準を上回った。内訳は普通乗用車が同1.9%増、小型乗用車が同11.9%増、軽乗用車が同25.5%増であった。

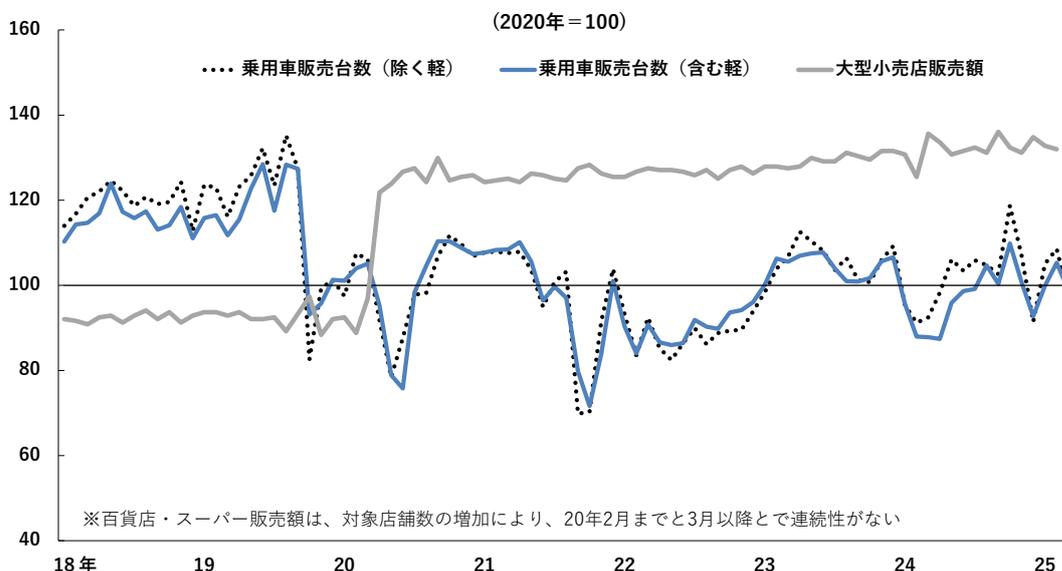
2月の百貨店・スーパー販売額は、全店ベースで前年同月比0.4%減、既存店ベースは同0.5%減と、ともに4か月振りに前年水準を下回った。専門量販店販売額は、家電量販店が同2.2%増と15か月連続で前年水準を上回った。ホームセンターは同2.4%増と4か月連続で前年水準を上回った。ドラッグストアは1.4%増と46か月連続で、コンビニエンスストアも同0.3%増と10か月連続で前年水準を上回った。

2月の家計消費支出（2人以上の勤労者世帯・水戸市）は、教養娯楽や教育、住居などの支出が増加したことにより、前年同月比10.9%増と、5か月連続で前年水準を上回った。消費マインドに関して、3月の「景気ウォッチャー調査－北関東－」をみると、家計動向関連DI(現状判断)は46.0、前月比1.4pt増と、判断の目安となる50を12か月連続で下回ったものの、2か月連続で上昇した。

企業ヒアリング（3月）では、「年始よりイベント等の際の（売上は）好調」（小売店）との声が聞かれた一方、「消費者の多くが少しでも安い商品を求めている」（スーパー）など、物価高を受けた消費者の買い控えや節約志向の高まりを指摘する声も目立った。

このように、個人消費は、物価高による消費マインドの低下の影響を受けつつも、供給サイドの販売動向は引き続き堅調であることから、「一部に弱さがみられるものの、緩やかに回復している」との判断を据え置いた。先行きについては、賃上げなどによる所得環境や消費マインドの改善の行方について、引き続き注視する必要がある。

乗用車販売台数、百貨店・スーパー販売額



出所：茨城県自動車販売店協会、経済産業省 \* X-13-ARIMAによる季節調整値、月次ベース

## 雇用情勢は持ち直している—労働需給は引き続きタイトな状況

2月の雇用関連指標（ハローワークの求人対象）は、有効求人倍率（季節調整値）が1.26倍、前月比0.06pt減と2か月振りに低下した。新規求人倍率は1.98倍、前月比0.06pt減と2か月連続で低下した。就業地ベースでの有効求人倍率は1.48倍であった。

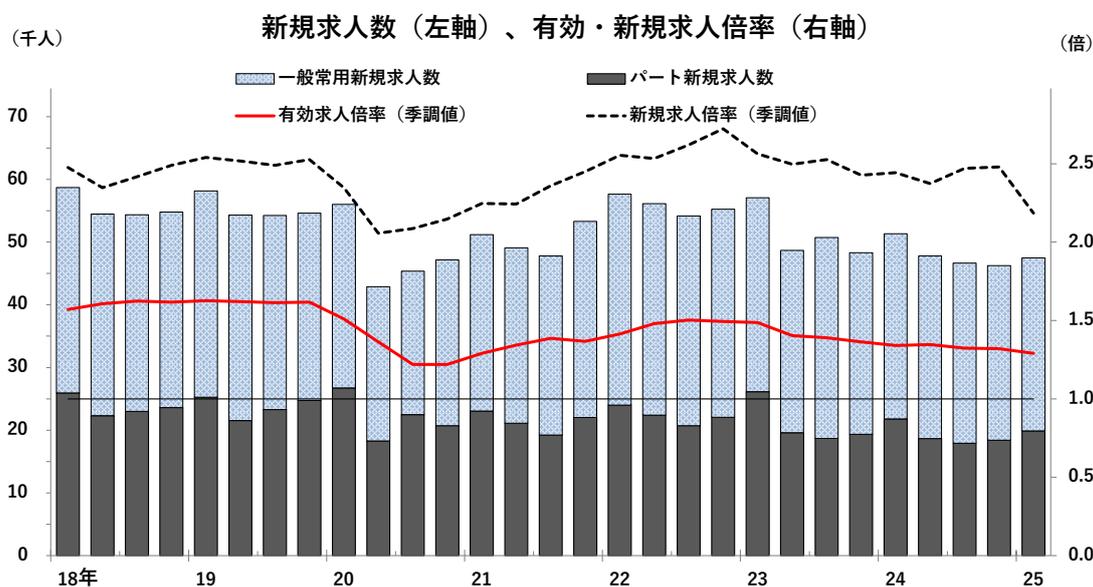
新規求人数は15,853人、前年同月比16.8%減と2か月連続で前年水準を下回った。新規求職者数は7,880人、同7.0%減と7か月連続で前年水準を下回った。新規求人数（パートを除く）の内訳を産業別にみると、情報通信業（同20.6%増）、教育・学習支援業（同7.2%増）が増加したものの、宿泊業・飲食サービス業（同31.8%減）、サービス業（他に分類されないもの）（同23.4%減）などが減少した。

一方、日銀短観（茨城県・3月）によると、企業の人手不足感を示す雇用人員判断DI\*（全産業）は、前期比で「不足」超が拡大した（24年12月：▲31→25年3月：▲35）。県内の広告求人件数も前年水準を上回って推移しており、人手不足を背景に、民間職業紹介を含めた県内の求人動向は総じてみれば底堅く推移している。

失業者を示す雇用保険受給者数は7,587人、前年同月比0.3%増と小幅ながら2か月振りに前年水準を上回った。一方、事業主都合離職者数は417人、同1.9%減と2か月振りに減少した。このように雇用情勢は、ハローワーク経由の有効求人倍率が2月単月では低下したものの、民間職業紹介の状況などを踏まえ、労働者側から見て「持ち直している」との判断を据え置いた。

なお、当社が県内企業に対し実施した「春季賃上げに関する企業調査」（3月・回答205社）によると、25年の春季賃上げについて「賃上げを実施する」企業の割合は65.0%と、3年連続で6割を超えた。春闘における賃上げは、本年も高水準で推移する見通しだが、今後、トランプ政権の通商政策による景気への悪影響により、企業の賃上げ方針や賞与の動向に変化が生じる可能性については注意が必要とみられる。

※：「過剰」－「不足」



出所：厚生労働省 \* 四半期ベース、25年1Qは1、2月の数値

## 茨城県経済動向 基調判断の推移

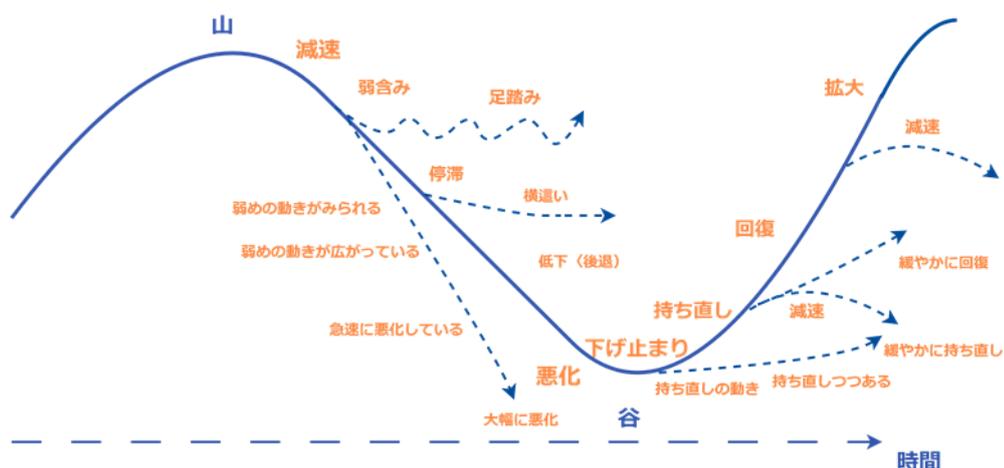
		基調判断
2021	8	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	9	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	10	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	11	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
	12	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、一部に持ち直しの動きがみられる
2022	1	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	2	県内経済は、新型コロナウイルスの影響が続いているものの、持ち直しの動きがみられる
	3	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	4	県内経済は、新型コロナウイルスの影響により、持ち直しの動きが一服している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しの兆しがみられる
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、持ち直しつつある
	11	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	12	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
2023	1	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	2	県内経済は、資源高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	3	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	4	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	5	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	6	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直しつつある
	7	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	8	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	9	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	10	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	11	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	12	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
2024	1	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	2	県内経済は、物価高などの影響を受けつつも、持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	5	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	6	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	7	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	8	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	9	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	10	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	11	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	12	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
2025	1	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	2	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	3	県内経済は、一部に弱さがみられるものの、総じてみれば持ち直している
	4	県内経済は、総じてみれば持ち直しているものの、トランプ通商政策により不透明感が強まる

## 各指標の動向判断の推移

		生産	住宅	設備投資	
2024	3	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	4	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	5	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	6	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	7	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	8	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	9	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	10	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	11	弱含んでいる	弱含みにある	持ち直している	
	12	弱めの動きとなっている	弱含みにある	持ち直している	
	2025	1	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
		2	弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している
3		弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している	
4		弱めの動きとなっている	弱めの動きとなっている	持ち直している	

		公共投資	個人消費	雇用	
2024	3	持ち直しの動きに足踏みがみられる	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している	
	4	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している	
	5	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	横ばい圏内で推移している	
	6	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる	
	7	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる	
	8	持ち直しつつある	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる - 労働需給は引き続きタイトな状況	
	9	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直しの兆しがみられる - 労働需給は引き続きタイトな状況	
	10	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況	
	11	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況	
	12	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況	
	2025	1	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
		2	持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況
3		持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況	
4		持ち直している	一部に弱さがみられるものの 緩やかに回復している	持ち直している - 労働需給は引き続きタイトな状況	

### 基調判断・動向判断の表現方法（イメージ）



「茨城県経済動向」は旧常陽地域研究センター（常陽アーク）が  
1969年より継続してまいりました月例調査を、  
2019年4月以降、常陽産業研究所が継承・実施しているものです

表紙の通番は常陽アーク時の通番を引き継いでおります

常陽産業研究所

地域研究センター

- ・本資料は、当社が独自に集計・入手しているデータを除き、2025年4月23日現在で公に利用可能な統計指標に基づき作成されています。
- ・公開されている統計指標は、過去に遡及して改訂されることがあります。
- ・統計指標を利用する際は、常に最新の公表資料を参照する必要があります。
- ・本資料は、統計指標とそれに基づく判断が正確であるよう最善を尽くしておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。
- ・本資料に示した将来に関する全ての記述は、現時点での判断を示しているに過ぎません。